

1992年講座御案内

企業人向け 英語特訓課程

BUSINESS
COMMUNICATION
PROGRAM



ENGLISH ONLY

LIOJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

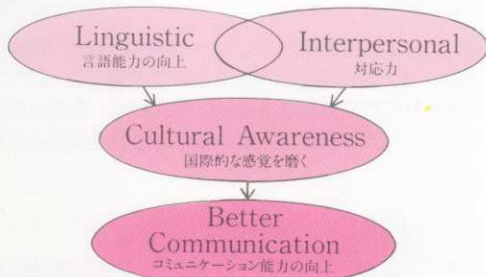
ENGLISH ONLY

LIOJでは語学教育にとって理想的なTotal Immersion方式を採用し、英語力の増強を図ることはもちろんのこと、蓄積された英語力を活用する実戦の場所を提供、英語・外国人に対する違和感をなくすばかりではなく、対応力と自信を養います。

4週間(26泊27日)の合宿期間中は、仕事から完全に離れ英語学習に専念して頂くため外国人教師との生活環境の中で、日本語の使用を一切禁止し、授業はもとより食事、課外活動等すべての生活をEnglish Onlyで行ないます。



GOALS



急速に変化するビジネス界において、文化的、習慣的な壁を越えて効果的なコミュニケーションをするには、言語能力のみでは不十分です。LIOJでは「何がわからないか」ということよりも「何がわかるか」に焦点をあてています。国際理解とコミュニケーションを実践するため言語だけでなく習慣に関するトレーニングを組み入れています。

主な受講会社 —— 昭和43年開講以来、全国635の企業、

アイカ工業、ICIジャパン、アクゾ・カンマ、浅沼組、旭化成工業、アスモ、アドバンテスト、安藤建設、アンリツ、市光工業、植木組、A.T.カーニー、NTN、ABBガデリウスインダストリー、大阪セメント、太田昭和監査法人、大林組、オムロン、オリンパス光学、海外電力調査会、カイトック、カーギルノースエイジア、加藤発条、鐘紡、川崎製鐵、関西ペイント、監査法人トーマツ、キッコーマン、キャタピラーエイチアイマーケティング、キャノン、旭洋、近畿リース、倉敷紡績、KDD、興亜石油、コスモバイオ、ゴードックス、コニカ、小松製作所、小松ゼノア、五洋建設、桜測器、山陽特殊製鋼、J.ウォルタートンプソン、J.P.モルガン証券、シーベル機械、清水建設、ジョンソンエンドジョンソン、新電元工業、スズキ、住友金属鉱山、住友生命、生化学工業、ゼクセル、ゼネラル石油、ソニー、第一証券、第一生命、ダイセル化学工業、ダウ化工、ダウケミカル日本、高島屋日発、蟬理、テルモ、デルタ工業、電気化学工業、東海興業、東急不動産、東京電気、東ソー、東邦機械工業、東邦レーヨン、東洋エンジニアリング、東レ、東レ・デュポン、トクセン工業、

LIOJ

24名定員の公開講座

年間11回開講されるこの講座は、各回24名の定員を厳守し、1クラス4~8名の能力別3クラスに編成します。本年度24年目を迎えるこの講座は通算234期を開講するに至り、全国635社の企業・団体から5,700名以上の方々のご受講を頂いております。ほとんどの受講者は企業からの派遣で、様々な分野の第一線で活躍しているビジネスマン(女性参加者も含む)ですので、それぞれが高い目的意識とモチベーションを有しています。また、異業種、異職種の方々との交流、人材開発の場としても有益です。

受講対象者：TOEIC350~730点

英語力の有効活用と英語オンリーの研修のため、受講対象者はTOEIC350~730点、または同等のレベルの方々には最適のコースです。新人から管理職まで海外赴任や海外研修を直前に控えた方、海外出張や国内業務で常に英語を必要としている方、転職の際に英語力が必要とされる方などに最適です。

高い質を誇る23名の専任外国人教師陣

LIOJでは、年間500名に及び海外からの応募者の書類選考後、毎年校長自らアメリカ、カナダに渡り、各地で面接を行なった上で、人格・能力ともに最も優れた人物を専任教師として採用しています。英語を第二言語として教える学位E.S.L.(English as a Second Language)を習得した経験豊富なエキスパートを中心に国際ビジネス、経済、技術など企業人コースに即した様々な分野からも優れた人材を集め、高い教師の質とバラエティーを誇っています。

更に、教師の研修にも力を入れ、JALT, TESOL, IATEFLなど、国際的英語教育学会へも積極的に参加し、最新の教授法、教材の開発、英文教育研究誌「クロスカレンツ」の発行などその教育研究活動は各方面から高い評価を頂いております。また、常に最高の指導を提供するためDirectorやAcademic Supervisorらがオブザーバーとして授業を参観し、各教師に個別指導を行ないフォローするのみならず、教師間でもお互いにオブザーブするシステムや定期的なセミナーを設け積極的な意見交換を採り入れていきます。

〈プレイスメント〉

開講日より2日間にわたり行うGRAMMAR TEST(文法試験)、LISTENING TEST(聴解力テスト)、ORAL INTERVIEW(口頭面接:教師2名対受講者1名)をもとに、能力別クラスに編成致します。1クラスは4~8名の少人数制です。



〈選択クラス〉

(4:15~6:00)

選択クラスは受講生の個々の目的・必要性に細かく応えるために設定されており、ビジネスコミュニケーションクラスで得た能力に新しい知識を加えて補強するものです。受講手続きの段階および第1週目に、受講生自身の要望に最も適した選択クラスを受講していただくため教師と相談の上、第2週目の4:15~6:00から開始されます。

選択クラスの例として、ビジネス・ライティング、技術面の情報交換、図表や数字の練習、テレフォンプラクティス、プレゼンテーション、ソーシャル・イングリッシュ、サーバイバル・イングリッシュ等がありますが、事前のご希望・ご相談によりクラスを設定することも可能です。

カリキュラム

CURRICULUM

〈ビジネスコミュニケーションクラス〉

(9:15~12:10, 1:30~4:00)

ビジネスコミュニケーションクラスは午前と午後、能力別に編成されたクラスの各担当教師による授業です。この授業では受講生がビジネス英語を習得すると共に、異文化間のコミュニケーション能力を向上できるようなプログラムしてあります。



WEEKLY CURRICULUM GOALS

WEEK 1: 自己紹介と描写表現

- 公私共に様々な状況下で自己紹介及び会社・職務に関するプレゼンテーションなど表現能力の向上
- カクテルパーティーなど社交の場に適したふるまい、会話への参加の仕方・進め方など会話能力の向上
- ビジネス関連の情報を聞き取り、論旨をとらえる理解力の向上

WEEK 2: コミュニケーション方法と国際交流のトレーニング

- 会話をコントロールし、基本的な事から詳細にいたるまで情報交換

をする能力の向上

- スピーチ内容の要旨を把握、要約する能力の向上
- 国際感覚を磨き、異文化を理解し適応する能力の向上

WEEK 3&4: ビジネス能力の向上と実践

- 会話や議論に積極的に参画する能力の向上
- 電話における情報入手能力の向上
- 数字・グラフを扱う能力の向上
- 論理的・端的に即興スピーチする発表能力の向上

〈イブニングプログラム〉

(7:00~8:30)

授業の集中力、密度を高めるために授業は通常9:15~6:00に行なわれ、夕食後の7:00~8:30は、課外活動としてリラックスした雰囲気の中で講師と受講生が一緒に参加できるプログラムが用意されています。下記プログラムの他、ウェルカムパーティー、エンタテインメント・ナイト等が企画されています。

- カクテルパーティー: 第1週に行なわれるセミフォーマルスタイルのカクテルパーティーでは受講生が各自の仕事などについて話を進めます。国際ビジネス社会では不可欠なスキルをここで身に付けます。
- ゲームズナイト: 受講生はピクショナルリー、スクラブルなどの言葉中心のゲームをリラックスした雰囲気の中で楽しめます。
- Special Lectures: LIOJ教師、海外参加者や外部からの講師により、外国人の目を通しての異文化理解論、国際関係論や経済に関する特別講演があります。



- フェアウェルディナー&パーティー: 最終日の夕食はセミフォーマルスタイルで西洋の食事マナーを学ぶ良いチャンスです。終了証の授与が行なわれます。
- マジックショー: LIOJではおなじみのプロのマジシャンが英語を使ってマジックをします。



DAILY SCHEDULE	
7:50- 8:30	朝食
9:15-12:10	BUSINESS COMMUNICATION CLASS
12:10- 1:30	昼食および昼休み
1:30- 4:00	BUSINESS COMMUNICATION CLASS
4:00- 4:15	休憩
4:15- 6:00	ELECTIVE CLASS
6:00- 7:00	夕食
7:00- 8:30	EVENING PROGRAM

LIOJ Cultural Retreat

LIOJのRetreatは、第2週目のコミュニケーション方法と国際交流トレーニング授業を完成させるプログラムです。

期間中、受講生は教師と共にLIOJを離れて、大島、伊豆箱根方面へ1泊2日の旅行にでかけます。授業で習得したコミュニケーション法を踏まえ、日本の文化を解釈して説明する場を与えられます。受講生にとって教師との密接な交流とユニークな状況で学べる優れた機会となっています。

Meals with Instructors

合宿生活の中で特に大きなウエイトを占めるのが、教師を囲んでの毎日の食事時間です。English onlyの食堂では、クラスを離れた自由な会話環境がアレンジされますので、日本人が最も不得手とするインフォーマルかつ自ら会話を進めなければならない状況での会話能力の向上に最適です。



▲修了証書をもって

Final Evaluation Report

コース修了時には、受講者各自の4週間の実績に基づき、各クラス担当教師により評価が行われ、総合評価表(5ページ)として企業に送付されます。教師所見はもとより、英語力、国際ビジネス社会での業務遂行能力、異文化対応力や研修受講姿勢など、実践的コミュニケーション能力と問題解決能力を総合的に評価するものです。また各受講者にはクラスで行なったプレゼンテーションの収録ビデオが渡されます。

LIOJ

日本外語教育研究所 LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

生きた英語の習得と異文化への理解を深めると共に国籍を越えた真のヒューマン・リレーションの確立に貢献できる「人づくり」を目的とした教育研究として、財団法人MRAハウスの公益事業の一部門として昭和43年3月に設立されました。

コミュニケーションスキル向上にとってもっとも理想とされる英語オンリーのTOTAL IMMERSION方式を日本で初めて本格的に採用し、そのユニークなカリキュラムと質の高い教育は、24年間にわたり高い評価をいただいております。

DIRECTOR'S MESSAGE



Don W. Maybin
Director

The Language Institute of Japan was the first institution to provide an intensive residential program in this country for improving communication skills for business professionals. Over the years, our reputation has grown and we are used as a standard for other schools with similar programs.

At LIOJ, we constantly seek new ways to prepare our clients for the situations they will encounter. Our well-established program of sound classroom training complemented by extensive informal contact hours has recently been revised and expanded to better serve our students. Innovations include elective classes to meet individual learner's needs, and realistic, comprehensive simulations which integrate the skills developed in each class.

Our international staff and visiting scholars provide opportunities for stimulating cultural exchange, as well as a supportive atmosphere. Along with our exciting curriculum, the commitment of the LIOJ staff ensures that learners get the most for their efforts, both inside and outside the classroom.

Don received his M.A. in Applied Linguistics from the University of Essex (U.K.) in 1967, and a Royal Society of Arts (RSA) Certificate in TEFL in 1984. He has been teaching for more than fifteen years, most of them in Japan, in a variety of institutions, including junior colleges, state high schools, Mitsui Engineering and Shipbuilding Company, and most recently at Kagawa University. In addition, he conducts teacher training workshops for teaching associations, including the Japan Association of Language Teachers (JALT), and has written texts for Longman Publishers (U.K.).

団体から 5700 名に及ぶ方々にご受講いただいております。

徳山曹達、トビー工業、豊田自動織機製作所、トヨタ自動車、ニコン、ニコンテック、日清紡、新田ゼラチン、日本アップジョン、日本インター、日本海事検定協会、日本紙パルプ商事、日本化薬、日本金属工業、日本軽金属、日本ケッチェン、日本生命、日本チバガイギー、日本DEC、日本テトラパック、日本電装、日本ビクター、日本フィリップス、日本フェロー、日本無線、日本リーパBV、日本ロシュ、日本郵船、バイエルジャパン、バイエル薬品、バイオニア、日立製作所、日立電子サービス、日立物流、P&Gヘルスケア、P&Gファーマーイースト、ピップフジモト、フィリップモリス、藤沢薬品工業、富士電機、プリストルマイヤーズ スクイブ、プリチストーン、ヘキストジャパン、ポリプラスチックス、本州製紙、マツダ、松本油脂製薬、マブチモーター、ミクニ、三菱アルミニウム、三菱自動車、三菱ビルテクノサービス、メリルリンチ証券、モルガン銀行、山一証券経済研究所、ヤマハ、ヤマハ発動機、湯浅電池、ユアサ電池メンテナンスサービス、郵便サービス、ユニオンカーバイド、リコー、リーバイストラウスジャパン他。
(あいうえお願、敬称略)

ASIA CENTER

LIOJは小田原駅に近い閑静な高台にあるアジアセンター(当財団の施設)に常設されております。アジアセンターは、地上5階、地下2階の建物で、箱根連山を背に相模湾に面し、大島、伊豆・三浦半島を一望におさめる景勝の地にあります。企業の教育研修場・国際会議場として研修の方々のみ受け入れておりますので落ち着いた研修に専念でき、交通も至便であることから多くの方々にご利用いただいております。200名の宿泊食事施設、さまざまな研修規模に対応できる大小17の会議室、各種教育機器、喫茶コーナー・各種販売機ほか、コインランドリーなど充実した設備を備えております。

研修会場ご利用のお問い合わせは：アジアセンター ☎0465-22-6131



LIOJ FACILITIES

館内にはLIOJ専用施設として、教室(10室)、LL教室、宿泊室(ツインルーム)、食堂、ラウンジがあります。ラウンジには、VTR、二ヶ国語放送、衛星放送受信機器ほか、ビデオ映画、英字新聞、外国雑誌・図書、ステレオレコードなど、充実した研修と快適な生活のための設備が整っております。



PROGRAMS IN 1992

- ◆企業人合宿コース 4週間合宿(BCP)：年11回開講(第235期～第245期)
- ◆第24回英語教育者のためのサマーワークショップ1992
- ◆小田原コミュニティプログラム
- ◆小田原市立中学校における国際理解クラス
- ◆海外教育事業交流プログラム
- ◎1977年より実施している教育交流プログラムで、韓国、タイ国、フィリピン、ホンコンなど近隣アジア諸国から企業人コース、サマーワークショップ等にビジネスマン、英語教師や学生を奨学参加者として招聘しております。
- ◆CROSS CURRENTS (A Journal of Language Teaching and Cross-Cultural Communication)の発行

LIOJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

〒250 神奈川県小田原市城山4-14-1 アジアセンター2F

TEL.0465-23-1677. FAX.0465-23-1688

◆交通の便 小田原駅下車(JR東海道・新幹線、小田急線) 駅からタクシーで5分